

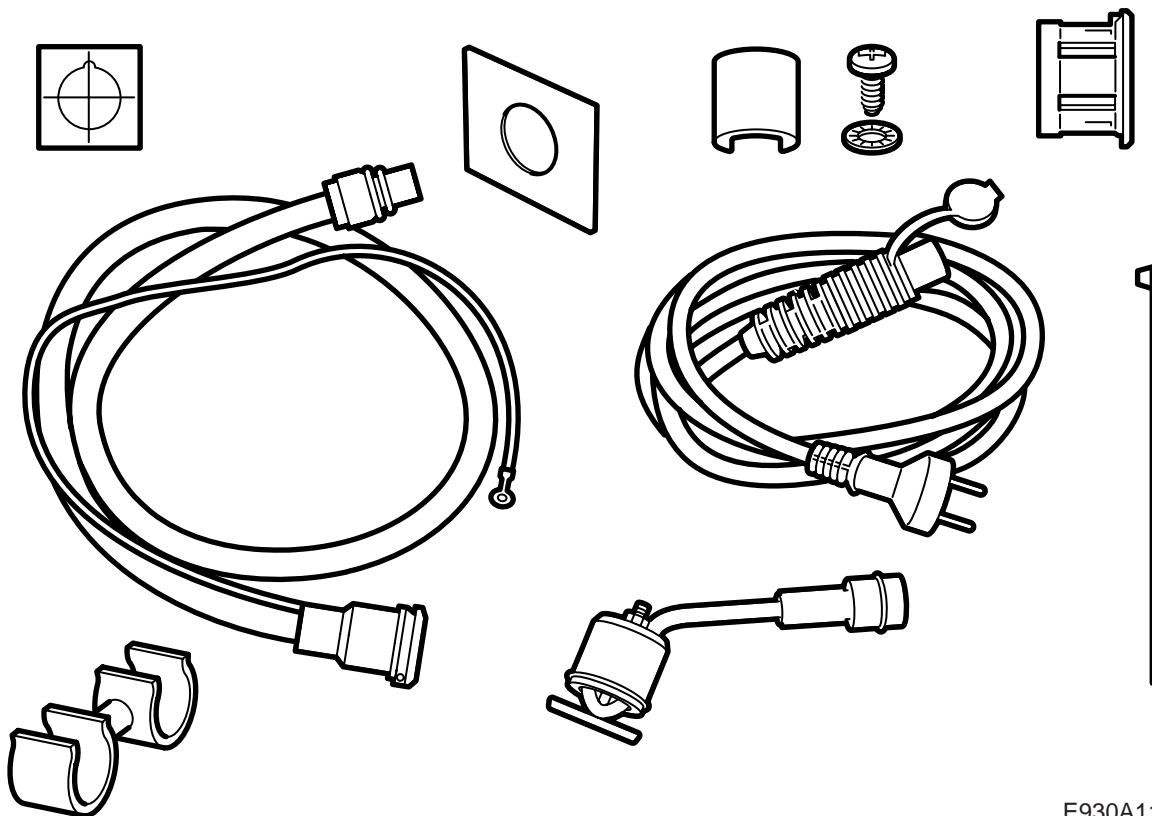


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

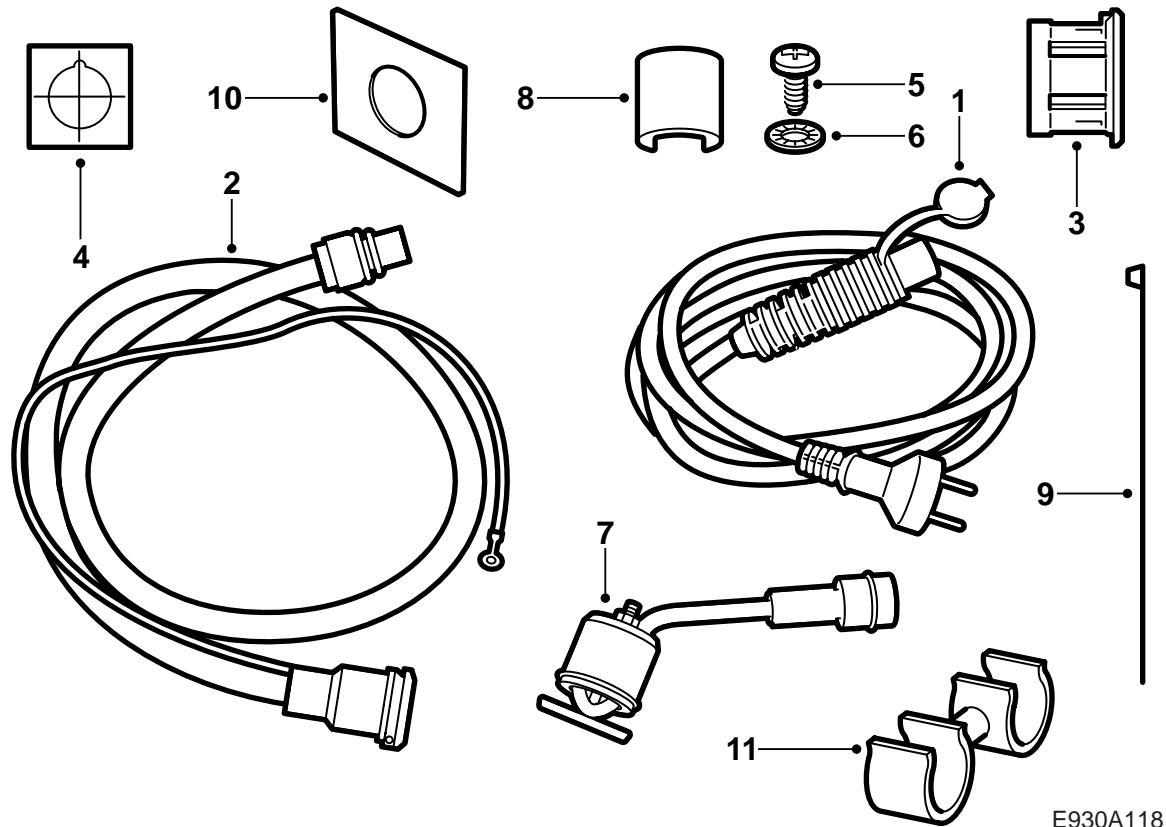
**Saab 9-5 B205、B235**

パーキングヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 126 652	9:87-19	Oct 99	51 92 661	51 92 661 Sep 99

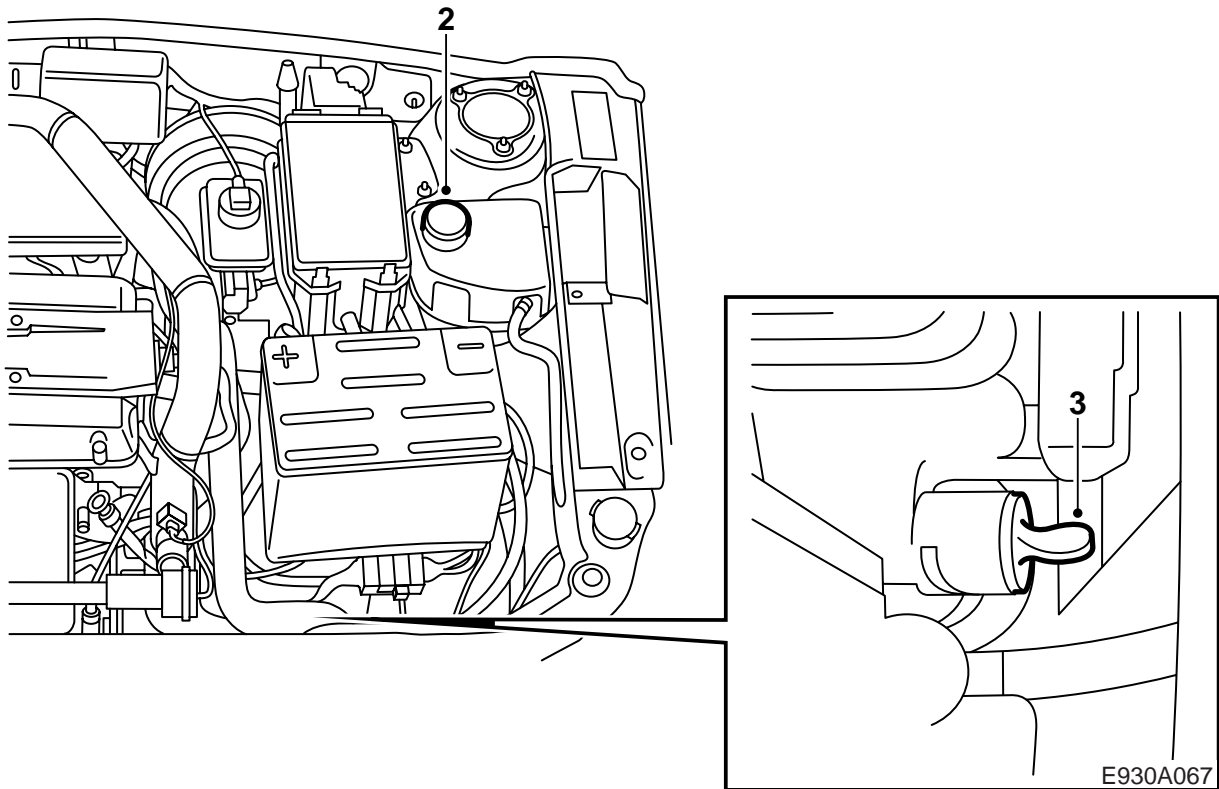


E930A117



E930A118

- 1 接続ケーブル
- 2 インテークケーブル付きソケット
- 3 エキスパンションスリーブ
- 4 接着剤付きテンプレート
- 5 ネジ
- 6 スターワッシャー
- 7 ヒーターエレメント
- 8 ロッククリップ
- 9 ケーブルタイ (5本)
- 10 補強プレート
- 11 クリップ

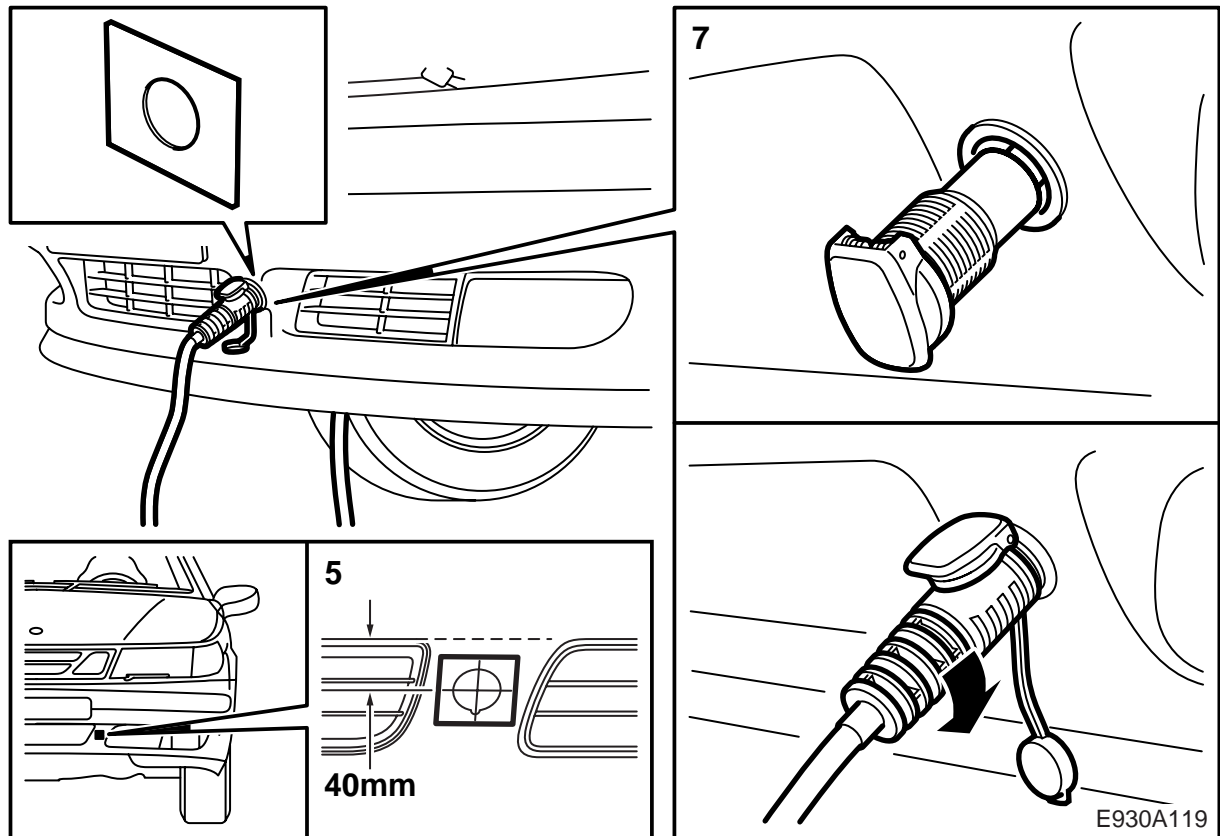


- 1 取り付け説明書全体を精読し、全ての部品がキットに入っているか確認する。
- 2 フェンダーカバーをかけ、冷却システムのエキスパンションタンクキャップを取る。

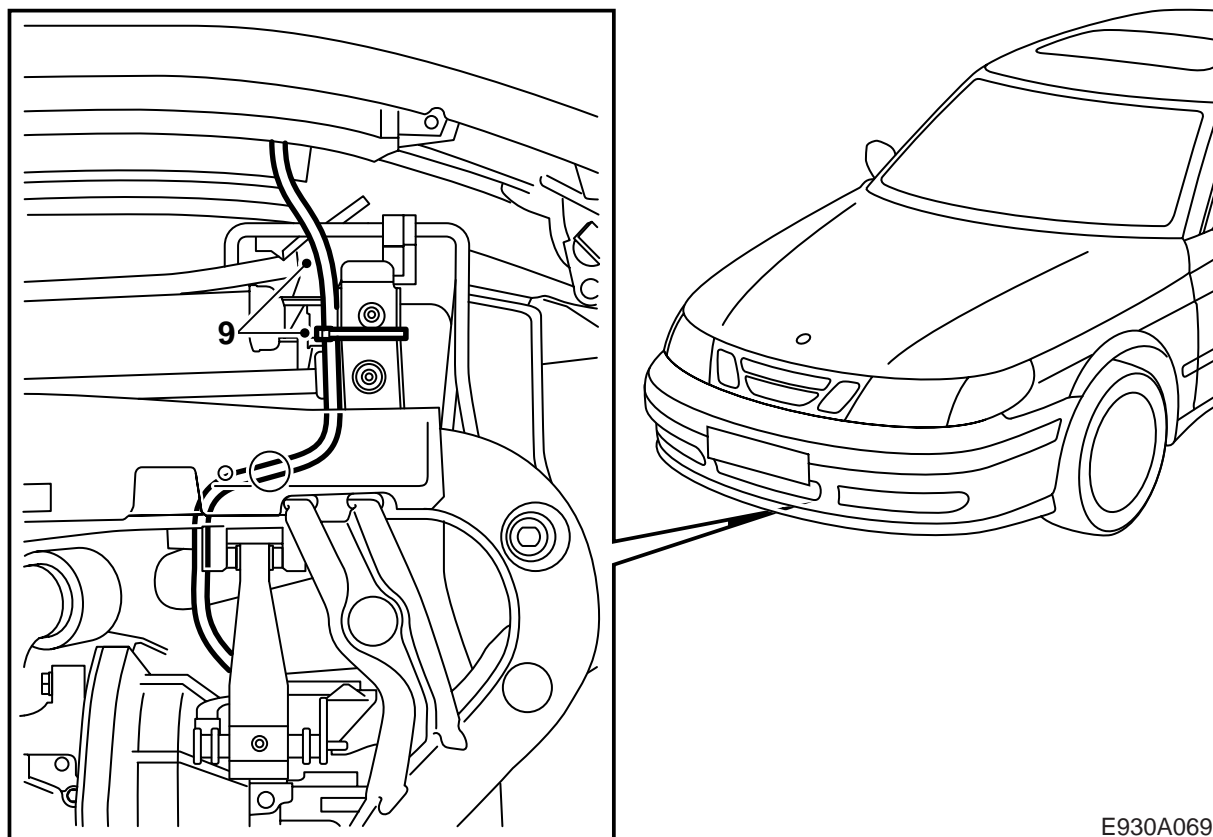
**⚠ 警告**

車のエンジンが熱い場合、十分に注意すること。冷却液は、非常に高温である。排気マニフォールドでやけどをする恐れもあるので注意する。

- 3 車両を持ち上げる。冷却液を受ける容器を置く。バンパーの背後のエアシールドを取り外し、ホースを接続する。ドレーンプラグを開けて冷却液を排出する。

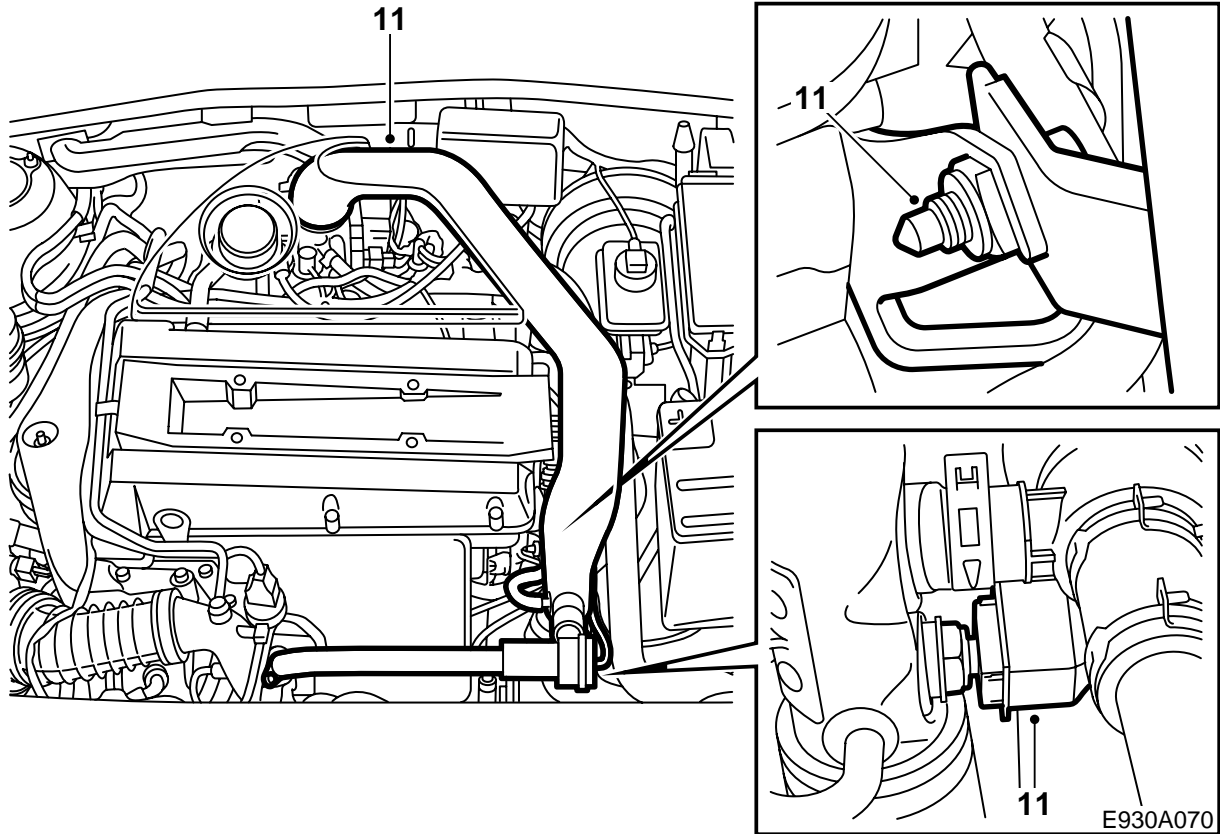


- 4 ソケットをバンパーカバーに取り付けるのに適した高さまで車両を下げる。
- 5 接着剤付きのテンプレートを使って、ソケット用の開口部の印を付ける。バンパー開口部に定規かテープをあて、テンプレートをおくべき位置を測る。図を参照。
- 6 30 mm のホールソーを使って、注意しながら穴を開ける。まず、ホールソーの中央ピンと同サイズのドリルビットで穴を開ける。穴端のバリ取りをし、4 mm の丸やすりで固定溝を作る。テンプレートを取り外す。
- 7 ソケットのエキスパンションスリーブを前から入れ、補強プレートをバンパーの裏側に挿入する。ヒーターのソケットを取り付ける。接続ケーブルを使って、ソケットを締め付ける。ソケットが確実に固定されるまで、右回りに回転する。
- 8 車両を上げ、ドレーンプラグを締める。

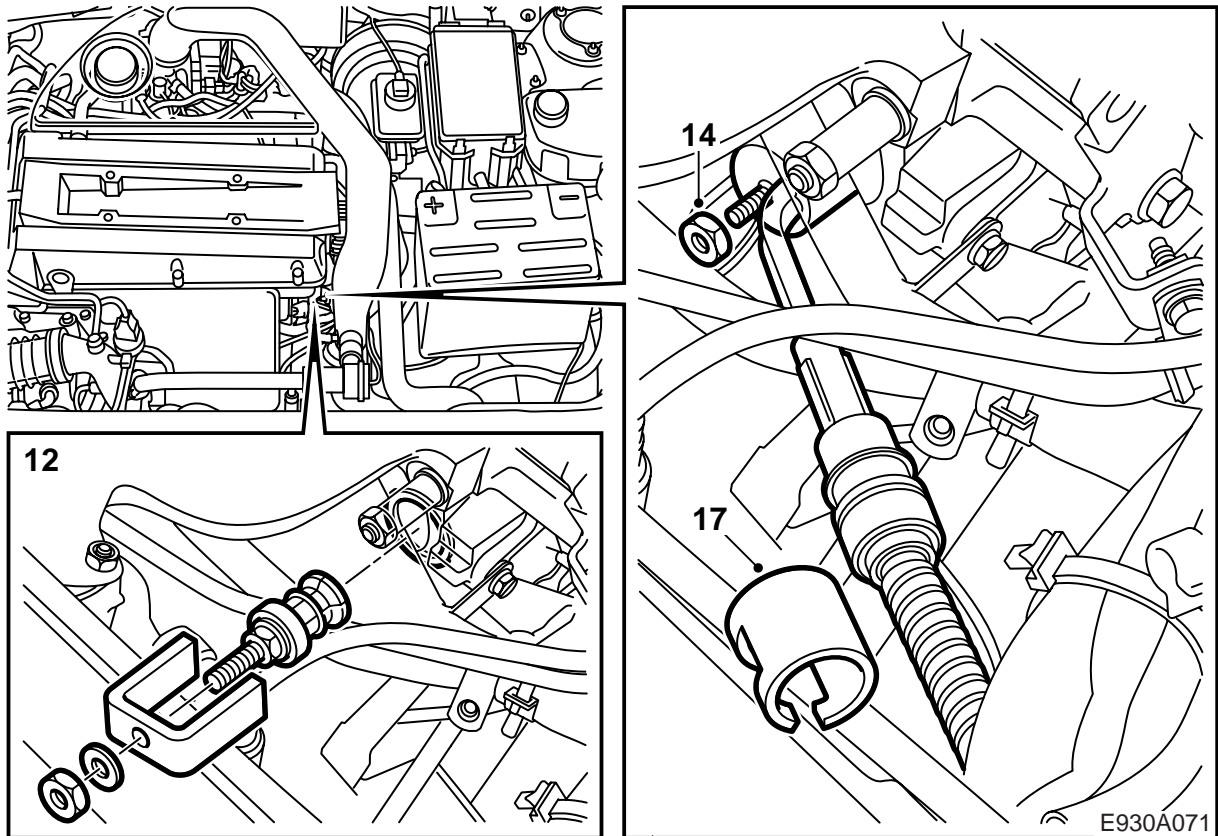


E930A069

- 9 ラジエーターとサブフレームの間にインテークケーブルを敷設する。インテークケーブルの接続部をトランスミッションの天面に置く。
- 10 エアシールドを取り付け、車両を下げる。



- 11 エンジンカバーを取り外し、ターボ圧パイプにホースや電気ケーブルが接続されている場合は、それらを外す。チャージエアクーラーとスロットルボディ間のターボ圧パイプ（バイパスパイプを含む）、および排気マニフォールド上のヒートプロテクターを取り外す。  
穴をふさぐ。

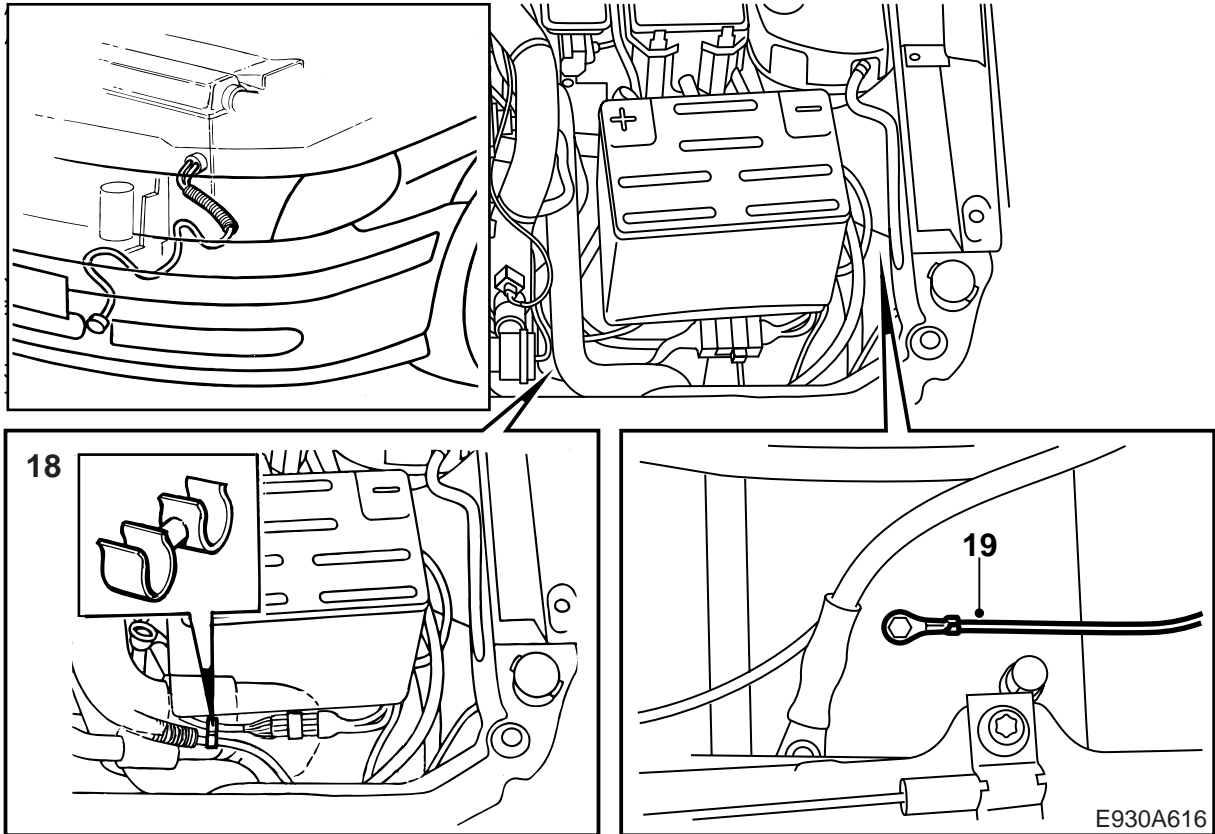


- 12 必要に応じて下部酸素センサーのケーブルを外し、260 147 020 の工具を使用してフロストプラグを取り外す。例えば 17 mm のディープソケットを使用する。
- 13 非酸性ワセリン (部品番号 30 06 665)、またはそれと同等の製品をヒーターエレメントの O リングに塗布する。
- 14 ヒーターエレメントの電気接続部が、車の左側を向き冷却液パイプの間にくるように、ヒーターエレメントを配置する。ヒーターエレメントを保持するナットはまだ締め付けしないでおく。
- 15 ヒーターエレメントの位置を調整し、他のパーツに触れたり、冷却液パイプに接触しないようにする。ナットを締め付ける。

**締め付けトルク値： 3.5 Nm (2.5 lbf ft)**

下部酸素センサーにケーブルを接続し、ケーブルを固定する。

- 16 インテークケーブルの O リングにパーツ番号 30 15 286 の無酸ワセリンまたはそれに相当するものを塗布し、ヒーターエレメントにインテークケーブルを接続する。
- 17 ロッククリップを接続部上に取り付ける。クリップが正しく取り付けられると、カチッという音がする。



18 図に従ってインテークケーブルを固定する。

**AT:** キットのクリップを使用して、バッテリートレイの所の下部ケーブルにインテークケーブルを固定する。

**MT:** 結束バンドで左ストラクチャーメンバーにインテークケーブルを固定する。

### ⚠ 警告

ケーブルが鋭い端や熱い表面に触れていないか確認する。ターボユニットがある場合は、その周りも点検する。ケーブルが擦れたり、熱によって溶けるとショートする恐れがある。

19 3.5 mm のドリルを使い、左ストラクチャーメンバーにアース線用の穴を1箇所あける。

20 良好なアースを確保するために塗装をこすり取り、アースケーブルをネジとスターワッシャーで締め付ける。(スターワッシャーをアースケーブルターミナルとボディ間に配置する)。防錆剤(部品番号 30 15 971)を薄く塗布する。

21 ソケットのアース端子、ヒーターのケース、ボディ間のアース状態を点検する。

22 ヒートシールドを取り付け、ターボ圧パイプ(バイパスパイプを含む)を元に戻す。また、バキュームホースをバイパスパイプに取り付け、ホースとコネクターをターボ圧パイプに取り付ける。エンジンのカバーを元に戻す。

23 冷却液を補充し、システムの漏れを点検する。

24 冷却システムの脱気を下記のように行う：

### 注記

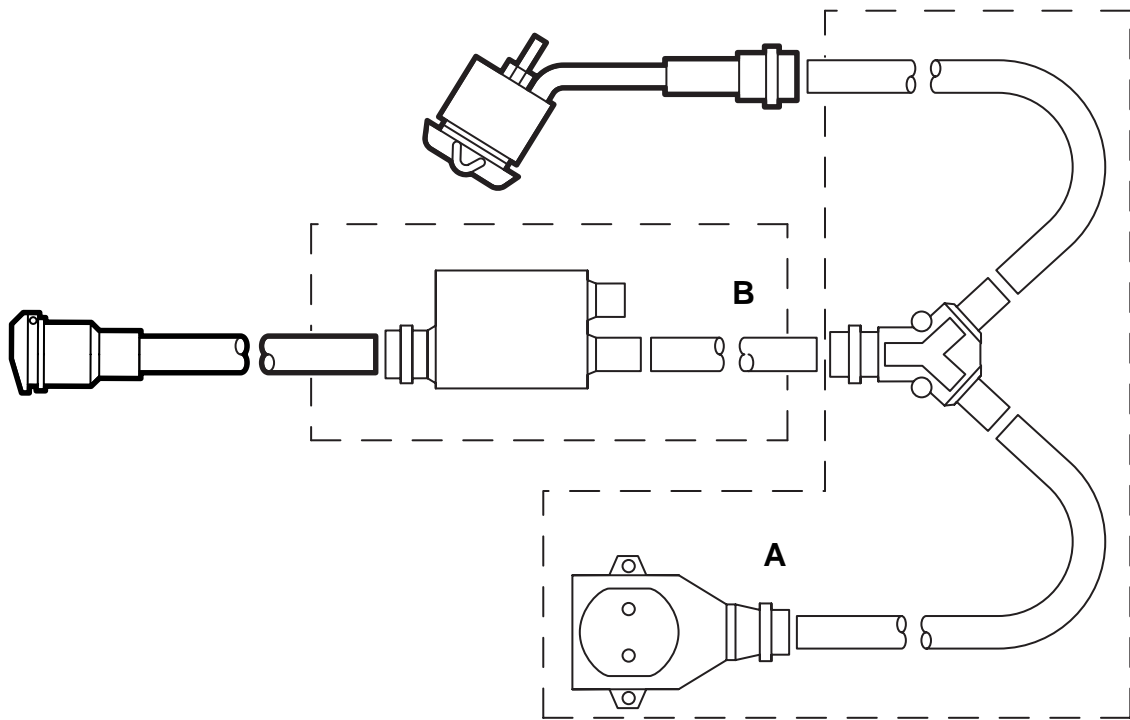
AC/ACC が OFF の位置にあること。

冷却システムを MAX レベルまで補充する。エキスパンションタンクのキャップを閉める。エンジンをかけ、冷却ファンが始動するまで回転速度を変えて、暖機回転させる。エキスパンションタンクのキャップを注意して開け、MAX レベルまで再び補充し、キャップを閉める。エンジンを停止し、必要に応じて再び MAX レベルまで補充する。

25 冷却システムに漏れがないか、また、ヒーターが機能するかを点検する。

26 取り付け説明書を車内に置き、顧客に対してユーザー指示事項について説明する。





E930A073

- A 分岐ケーブルキット
- B タイマーキット

## ユーザー指示事項

- 接続ケーブルは、耐油性のゴムケーブルで屋外用に許可されたもので、最低面積が  $3 \times 1.5\text{mm}^2$  あるものを使用して下さい。
- パーキングヒーターは、アースされたコンセントにのみ接続して下さい。
- ケーブル類は注意して取り扱って下さい。ケーブルがボンネットと車体間に挟まったり、鋭いメタルパーツで損傷する恐れがあるので気を付けて下さい。



### 警告

ソケットのアース端子、ヒーターエレメントカバー、および車体間のアース状態を定期的に点検して下さい。

- 接続ケーブルに損傷や劣化がないか定期的に点検してください。損傷したケーブルは直ちに交換してください。

## 注記

下記の場合、ヒーターの機能が低下する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合